

！ ITパスポート試験について

試験時間：165分
解答形式：四肢択一式
出題数：100問

合格基準：総合評価点600点以上/1,000点(総合評価の満点)
<分野別評価点>
ストラテジ系:300点以上/1,000点(分野別評価の満点)
マネジメント系:300点以上/1,000点(分野別評価の満点)
テクノロジ系:300点以上/1,000点(分野別評価の満点)

採点方式：IRT (Item Response Theory: 項目応答理論) に基づいて解答結果から評価点を算出

出題の構成

出題数

- ①小問84問
- ②中間16問(1中間につき4小問出題)

出題分野

- ①ストラテジ系(経営全般) 35問程度
- ②マネジメント系(IT管理) 25問程度
- ③テクノロジ系(IT技術) 40問程度

！ 受験案内

受験手数料：5,100円(消費税込み)

申込方法：3ヵ月先までの試験実施予定がホームページで確認できますので、ご希望する試験日時・試験会場等を選択して申込みをしてください。受験手数料の払込方法には、次の3つの方法があります。

[クレジットカード決済]

[コンビニ利用による払込み]

[パウチャー*決済]

*ITパスポート試験(CBT方式)の受験申込みをするためのチケット。事前購入が必要です。

申込みから結果確認まで

- STEP 1 試験案内や空席情報等を確認
- STEP 2 受験申込み [試験日時・試験会場を選択/受験手数料支払方法*を選択]
- STEP 3 受験手数料支払い
- STEP 4 試験会場で受験
- STEP 5 試験終了後、速やかに結果の確認が可能
- STEP 6 合格者は経済産業大臣名の合格証書を受領

試験結果はその場で確認できます。経済産業大臣名による合格発表は、受験した翌月に専用ホームページにて公表いたします。

* [クレジットカード決済]、[パウチャー決済]の場合、試験前日の正午まで申込み可能。[コンビニ利用による払込み]の場合、試験5日前の23:59まで申込みが可能。

※なお、身体の不自由等によりCBT方式で受験できない方は、春期(4月)と秋期(10月)の年2回、紙方式によって受験できます。詳細は専用ホームページ(<https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>)にてご確認ください。

お問い合わせ

ITパスポート試験コールセンター：TEL.03-5220-6736 / FAX.03-3216-7553 / e-mail.call-center@cbt.jitec.ipa.go.jp

※特定電子メールは送信しないでください。

中面「試験問題例」答え(Q1.1 Q2.A Q3.1)

IPA 独立行政法人 情報処理推進機構
IT人材育成本部 情報処理技術者試験センター
www.jitec.ipa.go.jp

IT基礎力を証明するための国家試験

ITパスポート試験®

通年で受験できる
CBT方式*採用!

*詳しくは中面をご覧ください。

全国47都道府県、100箇所以上の
会場で随時実施中!

「ITパスポート試験」は、情報技術の基礎知識を問う国家試験です。IT化の進んだ現代社会で働くすべての方に必要な基礎的能力を証明できます。



その手に、国が認めるIT力を。

IPA 独立行政法人 情報処理推進機構
IT人材育成本部 情報処理技術者試験センター

PC: <https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/index.html>

ITパスポート試験について

1 ITパスポート試験が対象とする人材像

グローバルなコミュニケーション社会において、企業情報を安全に扱い、ITで明日の強い企業を創るビジネスイノベーションを支える基礎知識を持った人材

具体的には

- ・ITを最大限活用して、業務課題の把握と解決力を持つ人材
- ・社会的な基礎知識を備えつつ、職業人として必須のIT力を兼ね備える人材
- ・情報セキュリティ等のITのリスクを理解し、安全に情報収集と活用ができる人材

2 出題の特色

- ①業務においてITを活用する上で必要となるITの基礎的な知識を出題します。
- ②担当業務を理解する上で必要となる経営全般の基礎知識を出題します。
- ③業務を安全に遂行するために必要となるセキュリティに関する知識について、積極的に出題します。
- ④新しい技術動向に関する問題を積極的に出題します。
- ⑤実務で遭遇する身近な場面を取り上げた問題を織り交ぜて出題します。

3 特徴

- ①あなたのIT力がスコアで確認できます。
- ②分野別のスコアが分かるので苦手分野も分かります。
- ③パソコンを使う際のセキュリティについても学べます。

CBT(Computer Based Testing)方式を採用!

CBT方式は、コンピュータを利用して実施する試験方式のことです。受験者は試験会場に行き、コンピュータに表示された試験問題に対して、マウスやキーボードを用いて解答します。試験申込みから試験結果の確認まで一連の試験手続きがコンピュータを通じて迅速に行うことができ、受験者にとって大変便利な試験です。

CBT方式の特徴

- ①受験のしやすさ: 随時、試験を実施しているため、都合の良い試験日時・会場を選択して受験することができます。
- ②学習計画の立てやすさ: 個人では学習目標に合わせ、企業・教育機関では研修や講座などのスケジュールに合わせ、受験計画が立てられます。
- ③申込みから結果の確認までの迅速化: 試験申込みは前日までできます。受験後は速やかに試験結果を確認することができます。

CBT方式を体験いただくための疑似体験ソフトが専用サイトから無料でダウンロードの上、利用できます。

応募者情報

■ 応募者状況 / 合格率 (合格者数÷受験者数で算出) 毎年、10万人以上が挑戦

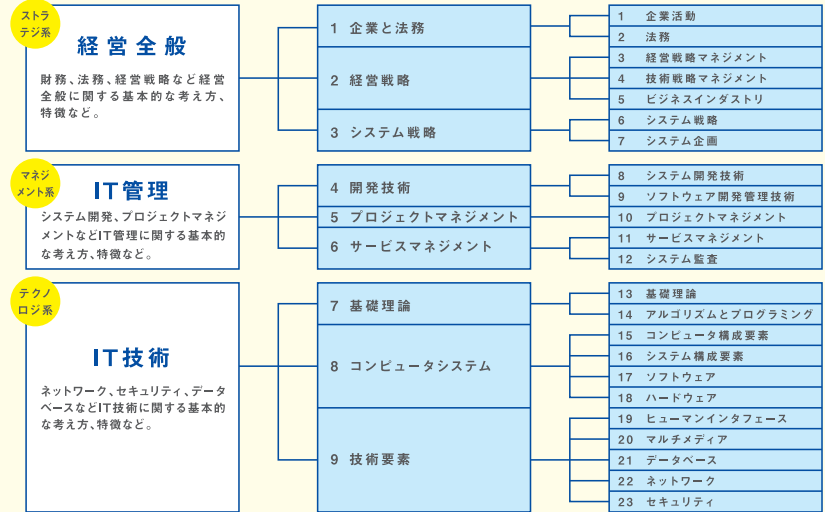


*平成23年11月以降のCBT方式による応募者数を含まない暫定値

■ ITパスポート試験の受験動機 (平成23年度秋期試験の応募者アンケートより)

1. 学校・職場が勧めるから	29.1%	4. 職場から義務づけられているから	8.0%
2. IT力を客観的に証明できるから	27.5%	5. 国家試験だから	7.5%
3. 就職・転職に活かしたいから	16.4%	6. 学校の単位取得や入試で優遇されるから	3.7%
		7. 人事上の昇格・昇進の要件だから	1.7%
		8. その他	6.1%

出題範囲



試験問題例

Q1 CSRの説明として、最も適切なものはどれか。

[ストラテジ]

ア: 企業が他社の経営の仕方や業務プロセスを分析し、優れた点を学び、取り入れようとする手法

イ: 企業活動において経済的成長だけでなく、環境や社会からの要請に対し、責任を果たすことが、企業価値につながるという考え方

ウ: 企業の経営者もつ権力が正しく行使されるように経営者を牽制する制度

エ: 他社がまねのできない自社ならではの価値を提供する技術やスキルなど、企業の中核となる能力

(平成22年度 秋期試験 問22)

Q2 プロジェクトメンバーの間で、プロジェクトに関する決定事項を明確に伝えるために行う活動として、最も適切なものはどれか。

[マネジメント]

ア: 議事録作成のルールを決める。

イ: 作業タスクの洗い出しを十分に行う。

ウ: 進捗を定量的に管理する。

エ: 成果物のレビューを実施する。

(平成22年度 秋期試験 問44)

Q3 電子商取引におけるデジタル署名で実現できることはどれか。

[テクノロジー]

ア: 意図しない第三者が機密ファイルにアクセスすることの防止

イ: ウイルス感染していないファイルであることの確認

ウ: 盗聴による取引内容の漏えいの防止

エ: 取引相手の証明と、取引内容が改ざんされていないことの確認

(平成22年度 春期試験 問65)